

令和6年度第1回榛東村子ども・子育て会議 会議摘録

○日 時 令和7年1月23日(木) 10:00~11:15

○場 所 役場2階 202会議室

○出席者

【委員(名簿順)】11名

足達哲也委員、小川みや子委員、飯塚匡委員、小淵恵美子委員、高山弘毅委員、
福島依里委員、松本昭彦委員、狩野等委員、小池香織委員、湯澤知佐子委員、
山川愛子委員

【事務局】2名

○概 要

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 挨拶

4. 自己紹介

5. 会長、副会長の選出

会長 松本昭彦委員

副会長 狩野等委員

6. 諮問

7. 議事

(1) 第2期榛東村子ども・子育て支援事業計画の振り返りについて

・事務局より、第3期計画素案を用いて、第2期計画の進捗評価の結果を説明

(会長)

評価結果の評点が0点のものがあるが、これはどういう意味か。

(事務局)

計画に実施することの記載はあったが、何らかの理由により実施ができなかったものは評点を0点としている。

(副会長)

基本目標1 - 施策の方向1-2・基本施策(1)の「幼稚園や保育所等と小学校との連携」の評点は、2.5点と低いがこれはどのような理由からか。

(事務局)

複数の担当課に関係することなので、確認して回答したい。

(委員)

実際のところ、当認定こども園と小学校では連携した事業を実施している。

(委員)

様々な活動を通じて、認定こども園・幼稚園・認可保育所と小学校では活発な連携が図られている。

- (2) 第3期榛東村子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたニーズ調査の結果について
・事務局より、第3期計画素案を用いて、アンケート調査の結果を説明

(委員)

このような調査は、これまでも実施してきたのか。

(事務局)

第2期計画策定時も就学前児童と小学校児童を対象とした調査は実施しているが、今回は量の見込みを算出することを主目的に利用希望日数や時間などの設問が多かった。今回は意向調査としての性格が強い。

(委員)

榛東村の子育て環境の満足度に関する設問では、「どちらともいえない」という回答が多い。その理由は何か。

(事務局)

当該設問は選択肢を選ぶ形式の設問であるため、「どちらともいえない」との回答の理由を尋ねていないが、自由意見の記述内容を見ると、経済的支援をはじめ、公園の整備、子育て情報の充実などについて多くの意見があった。

後日、アンケート調査結果報告書を配布したいと思う。

(委員)

当保育園では行事に関するアンケート調査を保護者に実施している。また、送迎時に保護者とのコミュニケーションを図るようにしている。

(委員)

当保育園では保護者と連絡帳のやり取りを行っているが、それを通じて本音が聞ける場面もあると思う。

(委員)

公園や遊び場の整備を求める声が多いようだが、随分前からあったニーズなのではないだろうか。

(委員)

長期で母親が不在の場合、父親だけでの子育てが大変なケースがあった。このような場合のサポートもしてほしいと思った。

(委員)

例えば、子ども会のある地域とない地域がある。“地域で育てる”といっても地域の情報が得られにくいのが実情である。

(会長)

“子どものコミュニティ”という視点も重要である。

(3) 第3期榛東村子ども・子育て支援事業計画の骨子案について

・事務局より、第3期計画骨子案を説明

(委員)

アンケート調査の結果を踏まえ、施策や事業を追加することは可能か。

(事務局)

ご意見をいただきたいと思う。意見を踏まえ、具体的な計画への記載内容について担当課と調整していきたい。

(委員)

幼児期における教育・保育の量の見込みと確保方策について、母親の就労意識が高まっていることなどをはじめ、今後の動きを踏まえた見込みをもう少し考えるべきではないか。

(4) その他

(事務局)

次回の会議は、2月10日(月)14時から開催するので出席をお願いしたい。

8. 閉会